

第 42 回生殖・発生毒性学東京セミナーのお知らせ-第 2 報-

第 42 回生殖・発生毒性学東京セミナーを下記のとおり開催いたします。

多くの方の参加をお待ちしております。

当日参加、大歓迎です。

記

日時： 2026 年 3 月 14 日 土曜日 13~17 時

会場： 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟（304 号室）

参加費： 2,000 円 懇親会費： 3,000 円（於：センター内 だしラボカフェ）、税区分は不課税です。

参加受付： 生殖・発生毒性学東京セミナーHP お知らせページにて受付中です。

当日参加も可能ですが、出来るだけ事前登録（特に懇親会に参加される場合）をお願いいたします。

プログラム：

13 : 05~ 受け付け

13 : 30~ 開会のことば

進行係 劉 委員、則武 委員

13 : 40~14 : 30 「生殖発生毒性評価を含む非臨床評価における NAMs の動向と 3Rs 推進に向けた PMDA の取組み」

三ヶ島 史人 先生 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構

「『New Approach Methodologies (NAMs)』は、生殖発生毒性評価を含む非臨床評価において医薬品開発効率の向上や動物福祉（3Rs）の観点から注目されています。本講演では、NAMs について国際調和の観点を含め、規制当局の視点から最新の状況を紹介します。」

14 : 30~15:30 「話題提供」

「1. 化学物質の甲状腺影響評価に関する国内調査報告」

葉形 麻樹子 先生 帝京平成大学・健康医療スポーツ学部・動物医療コース

「化学物質による甲状腺影響を介した発達神経毒性（DNT）評価が規制の懸念対象のひとつとして注目されている。2019 年に OECD が各種毒性試験において、血中甲状腺ホルモン

濃度測定を必須条件としてから、化学物質の安全性評価において、甲状腺影響に関する評価機会が増えている。甲状腺影響評価に関する各研究機関の評価現況を理解し、化学物質の安全性評価の一助とするために国内試験研究機関へ甲状腺関連ホルモン（T3, T4, TSH）評価に関するアンケート調査を実施した。アンケートの結果、積極的に取り組んでいる研究施設は限られていた。判定基準が不明瞭であること、行政の評価方針が不明であることが原因と考えられた。本セミナーではアンケート調査を報告するとともに、明確になってきた課題・問題点の解決に向けて非臨床試験の役割について論じる場にしたい。」

「2. 安全性評価委員会で遭遇した、ここでしか言えない話 2 -評価の現場で出くわしたあんな事やこんな事-」

宇佐見 誠 生殖・発生毒性学東京セミナー事務局

「前回の続きで、東京セミナー事務局の宇佐見が当セミナーの担当を終了するときのためにとっておいた各種の化学物質や医薬品等の安全性評価委員会で遭遇した、ここでしか言えない話（用語の定義、GLPの範囲などで出くわしたこと）を元にして、生殖・発生毒性試験の実施・評価について理解を深める場にしたいと思います。時間内で終わらなかつた分は次回以降に回させて頂きます。」

（休憩）

15：50～16:40 「魚類毒性試験の基盤知識：組織学的構造と種差の理解
- 生殖・発生毒性研究者向け -」

古川 賢 先生 日産化学株式会社 企画本部

「本発表では、魚毒性試験の基礎知識として、主に供試されている魚種、飼育環境、曝露方法（止水・流水曝露、強制経口投与）、および剖検手法について概説する。さらに、メダカの各種臓器（肝臓、消化器、腎臓、内分泌、生殖腺など）の正常組織構造について、齧歯類との比較しながら説明する。特に卵巣および精巣においては、内分泌かく乱物質の曝露により誘発される形態学的变化について説明する。また、近年確立された、ゼブラフィッシュの強制経口投与法について述べ、魚類と齧歯類の毒性比較に関する知見について紹介し、両者の肝毒性物質に対する感受性差についても考察する。」（東京セミナーHPで要旨を見ることができます）

16:40～ 閉会のことば

17:00~18:20 懇親会 於：国立オリンピック記念青少年総合センター内 だしラボカフェ

当セミナーでは、参加者の皆さまからのご要望などを随時受け付けています。

生殖・発生毒性に関する質問や演題の提案など、何でもOKです。

セミナー当日でも事前にでも、いつでも事務局宛にご連絡下さい。匿名扱いでもOKです。

質問などへの回答などはセミナー当日の講演時間以外に行います。

ご連絡の程、よろしくお願ひいたします。

また、生殖・発生学東京セミナーの実行委員として協力して下さる方も随時募集しています。実務経験が無くても、生殖・発生毒性に興味のある方であれば、歓迎いたします。

ご応募の程、よろしくお願ひいたします。

問合せ先：生殖・発生毒性学東京セミナー事務局

Email: tokioseminar@gmail.com

生殖・発生毒性学東京セミナーHP

(検索エンジンでは見つかりません、スマホ可)

<http://rdtoxts.wixsite.com/rdt-ts>

以上